



続・エキノコックス対策。

～昨年からはじめたエキノコックス駆除に効果が見られました～

ニセコ町で昨年より行っている、エキノコックス（寄生虫）の駆除の状況や、現状の報告などについて、下記の通り講演会を行います。

一昨秋、町内のキツネのエキノコックス感染状況について、3回にわたる実態調査が行われました（この調査は、NPO 法人WAOニセコ再発見の会（倶知安町）が、羊蹄山麓で取り組んだ活動です）。その結果、ニセコ町での抗原陽性（キツネの糞にエキノコックスの卵が存在していた痕跡がある）は約33%で、かつキツネの感染域と人の生活圏が重なっている状況が分かりました。

このため町では、「ニセコ町エキノコックス駆除対策推進員」（H21年度で11名）の皆様ボランティアでご協力いただき、昨年5月から11月まで計7回にわたり、エキノコックス駆除のためベイト（薬剤の入ったキツネのえさ）の散布を行いました。その結果、抗原陽性は10.5%まで低下し、明らかに効果がみられました。

人への感染が心配されるエキノコックスは、1980年代には全道に広がっていることが確認され、近年では主な宿主（やどぬし）となるキツネの感染率が40%にもなっているといわれています。最近では飼い犬を通じた人への感染も心配され、正しい知識を持って対処していくことが、一層求められています。

とき 4月26日（月）午後6時から 7時30分まで
ところ ニセコ町民センター 2階一般研修室

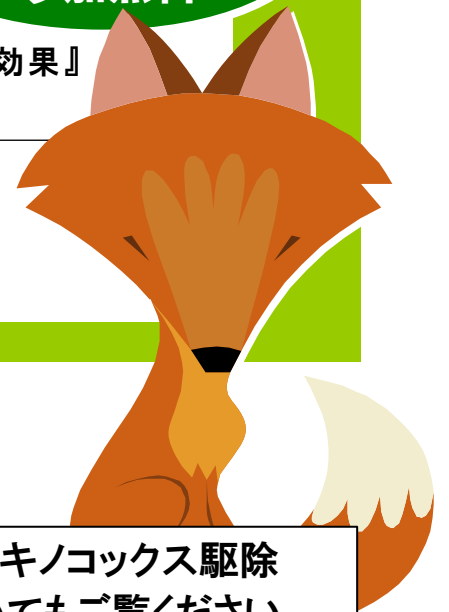


プログラム

18:00	講演 『(仮題)ニセコ町のエキノコックス駆除の取組と効果』 講師 岡崎克則さん（倶知安町風土館 館長）
19:00	ニセコ町でのエキノコックスの取り組みについて 説明 ニセコ町役場企画課 質疑

申込不要です
気軽にお越しください！

参加無料



※ H22年度もエキノコックス駆除のため、ベイト散布にご協力いただけるボランティアの方（ニセコ町エキノコックス駆除対策推進員）を募集しています。詳しくは、下記までお問い合わせください。

主催 ニセコ町
お問合せ ニセコ町企画課経営企画係
担当 福村・齊藤 電話 0136-44-2121
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp

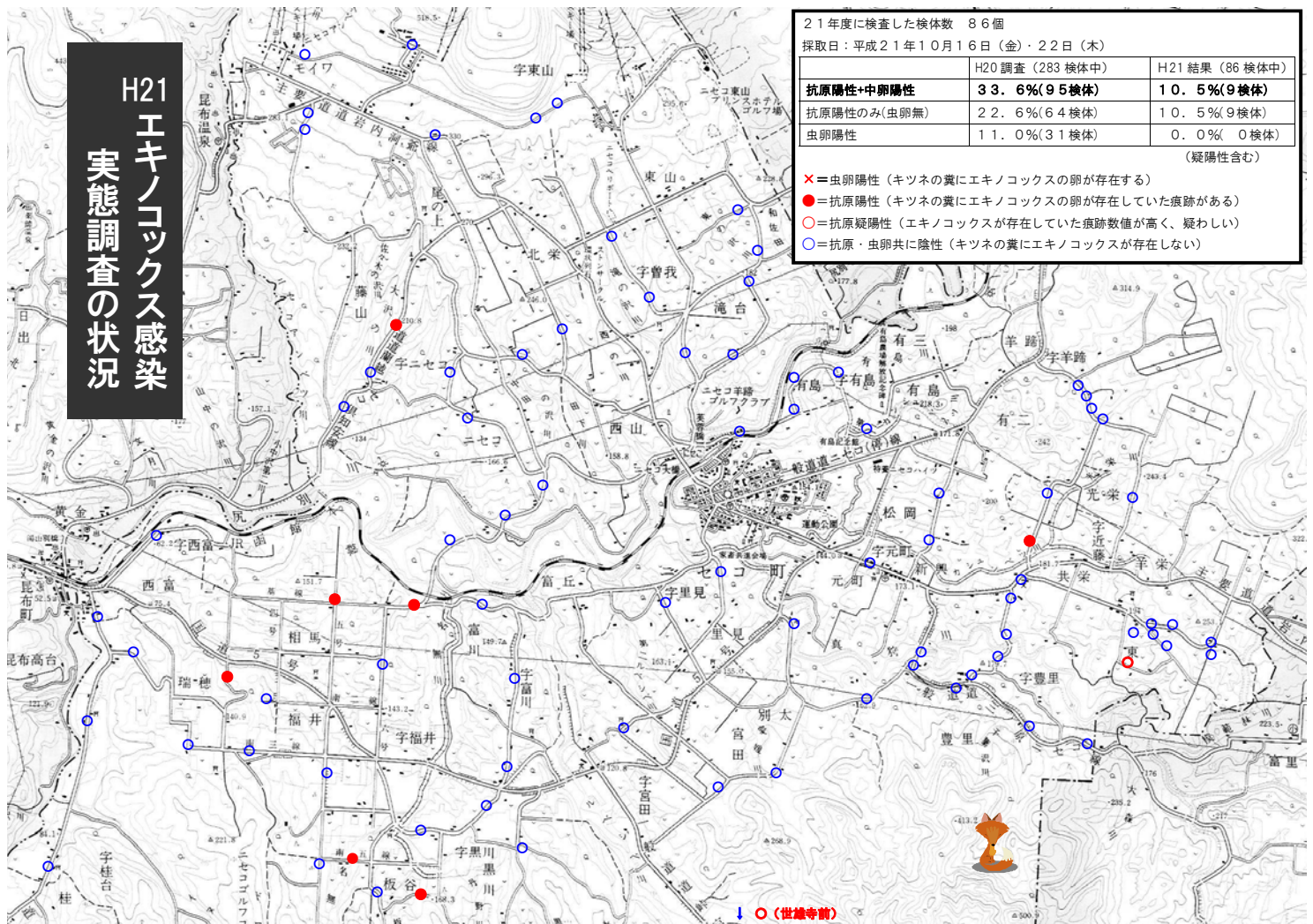
裏面のエキノコックス駆除
方法についてもご覧ください。

■エキノкокクス駆除方法とベイト(キツネのエサ)について

1. エキノкокクスは、ベイトと呼ばれる虫下しのエサを道路沿いに散布する方法で行います。散布したベイトは、縄張りを持つキツネに食べさせることが目的です。
2. ベイトを食べることによって、キツネの体内からエキノкокクスが排出されます。ベイトを食べてもキツネは死にません。
このため、健康になったキツネが自分の縄張りを守るため、エキノкокクスに感染したキツネの進入を防ぐこととなります。
3. ベイトは、虫下し入りの薬剤(プラジカンテル)を魚のすり身に混ぜて作ります。ベイト1つの大きさは消しゴム大です。
4. ベイトは道路沿いに、約100m間隔に1つ散布します。犬や人間が食べても健康に影響はありません
5. ベイトは5月から月に1回のペースで11月まで、計7回程度散布します。
なお、散布数は1回約1,600個です。
6. 10月頃に町内のキツネの糞を採取し(約100個)、エキノкокクス感染の減少状況を把握。



ベイトと呼ばれるキツネのエサ



H21
エキノкокクス感染
実態調査の状況